



真政の会

安藤 幽明
議員

▼平成二十三年度の予算 編成について

Q 予算を組むにあたって基本的な考え方や重要課題はどのようなことか。また、行政評価委員の評価、提言をどう取り入れているのか。

A 市勢振興計画に揚げた五つの都市づくりビジョンの推進、ジオパーク事業の推進による半島全体の活性化対策、雲仙普賢岳噴火災害二十年の記念事業の展開、地球温暖化防止対策、新幹線との連携による地域振興と活性化、教育環境の整備と充実、長崎がんばらば国体開催に向けた事業の推進を基本に、あわせて少子高齢化、経済雇用対策の推進を重要課題として取り組むべきだと考える。また、行政評価委員会からいただく市単独補助金のあり方などの提言を反映させた予算編成にしたい。

▼福祉について

Q 他市にある高齢者相談員、福祉委員という制度を設けてはどうか。

A 民生委員、児童委員の職務の重要性も

踏まえ、本市においてどのような制度がいいのか、社会福祉協議会や関係機関と協議していきたい。

▼島原城跡公園の整備について

Q 築城四百周年に向け、これから十五年かけて当時に近い復元構想を計画してはどうか。

A まちづくりや観光施設における役割や活用、財政的見地からの考察も含め、市民の意見を賜りながら検討していきたい。

▼公民館の建てかえについて

Q 利用が多い中央の三公民館の状況をどう考えるか。また森岳、霊丘公民館は建てかえの時期と思うがどうか。

A 中心部にあつて敷地が狭いということもあり、いずれの公民館も駐車スペースが不足しており、利用者の方には不便をおかしている。森岳公民館については、耐震強度が不足しており、二十三年度に耐震補強の工事を予定している。霊丘公民館については、特に敷地が狭く三階建てになっており、エレベーター設備もなく不便をおかしているが、耐震度は問題ないため、今のところ建てかえの具体的な計画はない。



政策研究会

中川 忠則
議員

▼市庁舎建設について

Q 建設予定地として①現在地は仮設庁舎の建設が必要、②大手浜埋立地は交通アクセスの問題、③島原城跡公園及び霊丘公園は都市公園法の制限などのデメリットがある中での建設位置の決定時期はいつを考えているのか。

A 庁舎整備懇話会からの提言、適当な民有地も含めて検討したい。時期については、二十七年年度までに完成するとした場合には、現議会で決めていただきたい。

Q 財源内訳はどうなるのか。

A 建設規模も決まっていないが、有利な合併特例債を活用した場合でも、公共施設等整備基金を含めて、一般財源が約半分は必要だと考えている。

Q 建てかえの主たる原因は何か。

A 国の中央防災会議の方針でもある地震時の耐震性の問題である。

Q 市庁舎建設までに、公共施設等整備基金の積み立ては幾らを予定しているのか。

A 現在では、約十億円の基金の積み立てがあるので、建設する年度までに、さらに約十億円を積み立てができればと考えている。

▼島原・愛野間高規格道路について

Q できる箇所から工事を着工できないのか。

A 広域農道沿いのルートが最適であるとの提言がまとめられたので、愛野側からと島原側から同時着工をしていただくように要望していきたい。

▼平成新山登山について

Q 島原市への登山客の誘致策は考えていないのか。

A 島原側から登るとした場合には、火道掘削のルートを拠点として検討をお願いしているところである。

▼島原鉄道跡地の利用について

Q 島原外港駅から安中駅を経由してアリーナまでを結ぶサイクリングロードをつくる考えはないか。

A サイクリングロードとしての利活用も含めて検討していきたい。